

上野耕平

サクソフォン・リサイタル



ピアノ

内門 卓也
Takuya Uchikado

*Saxophone
Recital*

3.9 2024
sat

開場 13:30

開演 14:00

会場

川越町あいあいホール

PROGRAM

マスネ: タイスの瞑想曲

ミヨー: スカラムーシュ

プラネル: プレリユードとサルタレロ

※曲目は変更となる場合がございます。

TICKET

発売日 | 2024年1月18日(木) あいあいセンターの電話予約は翌日から

1階席

2,500円

2階席

2,000円

全席指定・税込

プレイガイド

◆ 川越町あいあいセンター

TEL: 059-364-2500 8:30~17:00

◆ チケットぴあ

Pコード: 259-328 10:00~ <https://t.pia.jp/>

※未就学児は入場不可

※セブン・イレブン、中日新聞でも購入できます。 ※上記以外での販売はございません。

主催 川越町 / 川越町教育委員会

お問合せ 川越町あいあいセンター TEL: 059-364-2500 <https://www.town.kawagoe.mie.jp/>



上野 耕平 サクソフォン Kohei Ueno

茨城県東海村出身。8歳から吹奏楽部でサクソフォンを始め、東京藝術大学器楽科を卒業。第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門において、史上最年少で第1位ならびに特別大賞を受賞。2014年第6回アドルフ・サックス国際コンクールにおいて、第2位を受賞。現地メディアを通じて日本でもそのニュースが話題になる。また、スコットランドにて行われた第16回世界サクソフォンコンGRESでは、ソリストとして出場し、世界の大御所たちから大喝采を浴びた。指揮者山田和樹氏には「耕平は、1音を聴いただけで、ただ者ではないと思った!」、ボストンポップスオーケストラの音楽監督であり指揮者であるKeith Lockhartには「サクソフォンのこんな音聴いた事がない。目が飛び出るほど驚いた!」と言わしめた。デビュー以来、常に新たなプログラムにも挑戦し、サクソフォンの可能性を最大限に伝えている。2017年度第28回出光音楽賞受賞。2018年第9回岩谷時子賞 奨励賞受賞。現在、国内若手アーティストの中でもトップの位置をしめ、ソリストとしてNHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団他、国内のほとんどのオーケストラと共演。並行してサクソフォン四重奏「The Rev Saxophone Quartet」、吹奏楽団「ばんだウインドオーケストラ」としても勢力的に活動し、クラシックと吹奏楽を両軸に、上野耕平ワールドを築き上げてきた。また、テレビ「題名のない音楽会」「妄想トレイン」への出演、NHK-FM「×(かける)クラシック」の司会などメディアとの相性も良い。音楽以外にも鉄道と車をこよなく愛し、深く追求し続けている。CDデビューは2014年「アドルフに告ぐ」。そして、2015年には「ばんだウインドオーケストラ」、2017年には「The Rev Saxophone Quartet」としてCDをリリース。最新作は5枚目のソロアルバム「Eau Rouge」(2023年9月発売)。

<https://uenokohei.com>

Kohei Ueno Saxophone Recital

内門 卓也 ピアノ Takuya Uchikado

東京都立芸術高等学校音楽科ピアノ専攻を卒業。東京藝術大学作曲科を経て同大学院音楽研究科修士課程を修了。在学中には、旧奏楽堂木曜コンサートにて室内楽作品、奏楽堂モーニングコンサート等にて管弦楽作品が演奏される。長谷川良夫賞、アカンサス音楽賞を受賞。伴奏ピアニストとして、国内外の多くの著名アーティストと共演しており、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、ワールドフルートフェスティバルin台湾などの音楽祭に出演する他、霧島国際音楽祭、日本木管コンクールでは公式伴奏者を務める。作編曲家として多くの作品がCDに収録される他、劇団BDP「リアの食卓」、音楽朗読劇「シャーロック・ホームズ3」(主演・山寺宏一、演出/構成・野坂実)では作曲を担当、島谷ひとみEX.CROSSOVER2022では、編曲・ピアノ演奏・指揮を行うなど活動は多方面に渡る。

